



★ 令和元年度（2019年度）意見交換（ワークショップ）の結果

グループ	テーマ	グループからの主な意見内容
①	地域コミュニティ活動への参加促進	<p>●現状や問題点など 自治会について・・・ 自治会加入世帯(加入率)の減少 (若い世代・マンション・アパート) 住民同士のつながりが少ない 自治会に入らないことにデメリットがない 役員のなり手不足 活動しているのはいつも決まった人</p> <p>●理想像・あるべき姿 楽しい自治会 全世帯が自治会に加入 多世代交流が盛ん 一人一役(役員のサポート体制がある) 出来る人が、出来る時に、出来ることをする</p> <p>→</p> <p>～実現に向けた取り組み(案)～</p> <p>【地域での取り組み】 自治会加入のメリットを作る みんなが楽しめるイベントの開催 日頃からの声かけ 多世代交流の場を作る</p> <p>【行政での取り組み】 自治会活動について広く広報 公園の利活用における柔軟な対応 補助金アップ</p> <p>【市民協働での取り組み】 自治会(役員)の負担軽減</p> 
②	子どもから高齢者まで、地域住民が集える場づくり	<p>●現状や問題点など 隣近所とのつながりが浅い 地域によってつながりに格差がある 地域内の縦の関係が薄い ご近所さんについて知らない 近所の方と顔見知りになる機会が少ない 地域とつながる方法が分からない 昔のような受け入れ場所がない 高齢男性の孤独 若い親が子育てに悩んでいる 一人でご飯を食べる子ども(孤食)</p> <p>●理想像・あるべき姿 集まって話せる場・相談し合う場 「ここに行けば誰かがいる」→安心感 老若男女、世代間交流が盛ん 地域の子どもを地域で育てる 隣近所との密接なつながり 情報がスムーズに共有できる地域</p> <p>→</p> <p>～実現に向けた取り組み(案)～</p> <p>◆地域主導の集える場づくり◆ 常設の憩いの場、交流する場 みんなの家 空き家の利活用 空き教室でカフェ</p> <p>地域で子育てができる環境づくり 若者主導のまちづくり (SNSを活用した情報共有等)</p> <p>地域で自分の特技などを発表できる場 (人材発掘) 人材バンクの活用</p> 

★ 令和元年度（2019年度）意見交換（ワークショップ）の結果

グループ	テーマ	グループからの主な意見内容
③	災害に強いまちづくり	<p>●現状や問題点など 熊本地震の経験から・・・ 障がい者の中には、避難所に行けない、支援物資をもらいに行けない、並べない、助けを言い出せない方がいた 専門職だけでは限界があった 体が不自由な方、体育館ではなく車中泊を希望する方、ペットを嫌う方、ペット同伴を希望する方など様々な対応を求められた マニュアルはあったが、実際には動けなかった</p> <p>健軍商店街（アーケード）も大きな被害を受けたが、個人経営集団のため、いち早く営業を再開した 商品・食材等を地方から集め、炊き出し等も行った</p> <p>●理想像・あるべき姿 自助（まずは自分の命） その次に共助・近所（まわりを呼び込む・助け合う） 平常時からのコミュニケーション・助け合い 日頃からの気付きと気遣い・お互いを知る 高齢者・障がい者・外国人等にも配慮した避難所運営 商店街等の地域資源の活用 （商店街の社会的役割・活性化）</p> <div data-bbox="1584 474 2234 1016" style="border: 1px solid red; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>～実現に向けた取り組み(案)～</p> <p>【自分で出来る備え】 災害時の備えについて事前に学ぶ 避難所・井戸・活用できる物など知っておく 地域や隣近所とのコミュニケーション 体の不自由な方への配慮</p> <p>【地域での備え】 事前の知識が大事！ 楽しくゲームで学ぶ 避難所運営ゲーム（HUG）</p> <p>【商店街との連携協定】 店舗の強みを生かした物資供給・炊き出し等</p> </div> 
④	みんなで助け合う、福祉のまちづくり	<p>●現状や問題点など 東区における高齢化について・・・ 高齢化率は低い、人口→多い＝高齢者数→多い 疾病が増えると、認知症も増える</p> <p>高齢化が進むと、福祉サービスが追い付かなくなる</p> <p>●理想像・あるべき姿 みんなが自分の持つ個性を大事にできる 自分をわかってくれる 自分に理解を示してくれる のびのびと生きていくことができる 自立した生活を送れる 子どもから大人まで相談できる</p> <p>住民同士のちょっとしたお手伝い（無料orちょっと有料） 生活の手助けをする→まちづくりにつながる</p> <div data-bbox="1584 1167 2234 1633" style="border: 1px solid red; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>～実現に向けた取り組み(案)～</p> <p>◆集いの場所・居場所づくり◆</p> <p>地域のつながり・交流 ふれあい・助け合い 安心できる環境 同じ境遇の人々が集まれる 悩みを共有できる 認知症カフェ（当事者・家族・関係者） 全ての世代・多様な人々が利用できる 住民同士の中での居場所づくり 歩いていける場所</p> </div>  <p>○自分たち（学生）に出来ること・・・ 日頃の挨拶 行事への参加 話を聞く ボランティア（傾聴・料理・遊びなど） 世代間交流 公共スペースでの簡易的な交流会 スポーツや勉強を教える スマホや機械の使い方を教えるなど・・・</p>

★ 令和元年度（2019年度）意見交換（ワークショップ）の結果

グループ	テーマ	グループからの主な意見内容
⑤	恵まれた自然環境の保全と、地域資源をいかしたまちづくり	<p>●現状や問題点など [託麻三山] 展望所の整備ができていない 手入れがされておらず、荒れている山もある [江津湖] 昔はきれいな江津湖だった 水害などにより浅くなった</p> <p>若い人が知らない(名前は聞いたことがある) 親近感がわからない</p> <p>●理想像・あるべき姿 あるべき姿・資源環境を活かす 継続的な維持管理(支援)・整備 身近な場所 アピールできる場所 区の観光資源 (江津湖・動植物園・託麻三山を回遊)</p> <p style="text-align: center;">➡</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 10px;"> <p>～実現に向けた取り組み(案)～</p> <p>【地域での取り組み】 地元住民が喜ぶことが大事 住みよい「まち」→観光資源になる 地域活動での竹の活用 (どんどや・七夕) 歴史を知る</p> <p>【行政での取り組み】 駐車場・案内表示・看板の整備 10～20年先を考えた計画・整備</p> <p>【市民協働での取り組み】 豊かな自然を残す 遊歩道の整備 SNSなどを活用したアピール 住民が参加・楽しめるイベント (たけのご掘り・流しそうめん・ウォーキング等) カフェ(移動販売)</p> </div>

